



財政と行財政改革特集⑤

～平成17年度決算のポイントをお知らせします～

平成17年度に市のお金がどのように使われたかをご理解いただくため、一般会計決算をお知らせします。

なお、平成17年度の「事務報告書」「決算書」「決算審査意見書」が、市役所情報公開コーナー、公民館、中央図書館、北・南市民プラザで、閲覧できます。

行政管理課財政係 (内)223

環境のまち～環境を大切にすまちづくり～

市民1人当たりのごみに係る経費は、年間22,850円(し尿処理費除く)

衛生費

◎ごみ収集作業に係る経費 3億4,637万円【4,723円】
ごみ収集委託料2億7,382万円、粗大ごみ収集等委託料2,070万円、資源回収推進奨励金1,497万円などを支出しました。

Table showing waste collection statistics: 区分, 可燃ごみ, 不燃ごみ, プラスチック類, 粗大ごみ, 資源ごみ, 有害ごみ, 計

◎ごみ最終処分に係る経費 1億5,171万円【2,069円】
25市1町が共同で焼却灰や不燃物を埋め立てている、日の出町の二ツ塚広域処分場の運営費などを支出しました。

Table showing waste disposal statistics: 種別, 処分量(トン), 埋立量(m³), 搬入台数(台)

■多摩地域廃棄物広域処分組合負担金 1億28万円、埋立ごみ・プラスチック類等運搬委託料 3,200万円を支出しました。

教育のまち～教育を尊重するまちづくり～

教育費

◎小学校の管理運営経費 5億1,710万円【7,051円】
■1校当たり 6,464万円
※都から支給される教職員の給与分は含まれていません。

◎中学校の管理運営経費 3億2,561万円【4,440円】
■1校当たり 1億854万円
※都から支給される教職員の給与分は含まれていません。

◎くにたち文化・スポーツ振興財団関係経費 3億9,892万円【5,439円】
市民芸術小ホール、市民総合体育館、郷土文化館の管理運営費として、委託料、補助金を支出しました。

◎図書館の管理運営経費 2億3,485万円【3,202円】
■蔵書：36万6,625冊
■貸し出し：市民1人当たり8.0冊

◎私立幼稚園園児保護者等補助事業 1億793万円【1,472円】
保護者の負担を軽減し、教育の充実・発展を図るため、補助金を支出しました。

◎公園の整備・管理 2億4,599万円【3,354円】
ママ下湯水公園用地買収費1億277万円、公園緑地等維持管理委託料6,781万円などを支出しました。

土木費

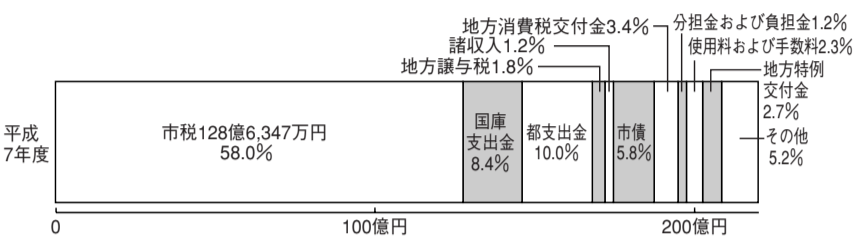
◎下水道事業特別会計繰出金 16億3,210万円【22,254円】
公債費(下水道施設建設のための地方債の元利償還金)の財源として14億382万円、雨水処理経費として1億6,506万円などについて、繰り出し(他の会計への支出)をしました。

◎中央線連続立体交差事業負担金 5億1,252万円【6,988円】
※東京都への負担金総額は、53億円にのぼり、今後工事の

歳入 221億9,101万円

《歳入の内訳(一般会計)》

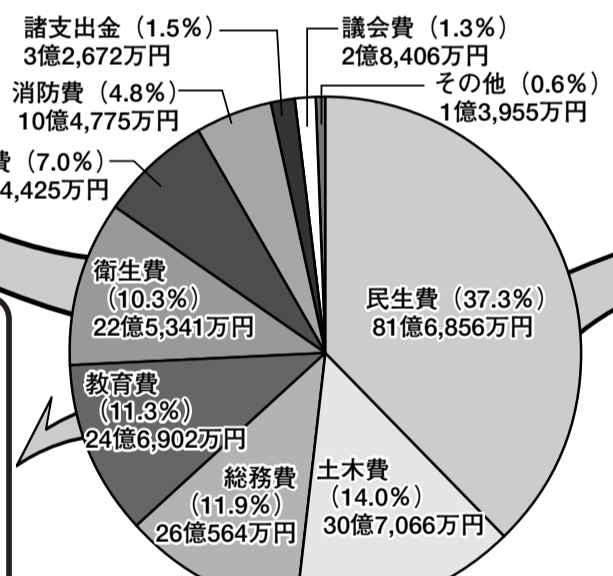
市税の割合は、税制改革の影響もあり、平成16年度決算より約5%増えています。



平成17年度の市のお金は
このように使われました

～一般会計の主な事業と経費～

注：◆()の財源のうち、一般財源とは、市民税、固定資産税、地方交付税などで、使い道が特定されず、どのような経費にも使用できる収入のことです。
◆国や都の補助金、使用料・手数料、利用者負担金、地方債など、あらかじめ使い道が特定されている収入を特定財源といいます。



歳出(性質別)

218億8,033万円

(普通会計決算額：公立学校施設整備資金貸付金繰上償還分2,929万円を除く)

公債費

◎地方債の元利償還金 15億4,410万円【21,054円】
(内訳：元金12億6,640万円、利子2億7,770万円)
建設経費の財源や減税による税収減補てんなどのため、国や東京都などから過去に借り入れた長期の借入金(地方債)の元金と利子を支払いしました。

総務費

◎コミュニティバスの運行経費 2,032万円【277円】
運行日数365日(平成17年4月1日～平成18年3月31日)
■利用状況
一日運行本数 27本
利用者合計数 231,152人
一日当たりの利用者数 633人

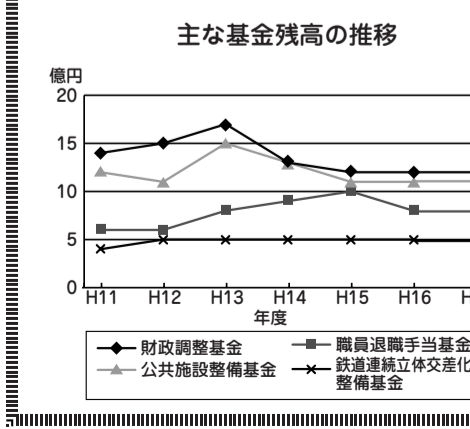
消防費

◎東京都消防委託金 9億7,411万円【13,282円】
国立市の常備消防(立川消防署の2カ所の出張所)について、東京都との協定に基づき委託金を支払いました。
■常備消防の出動状況
火災 31件
救助 3,181件
(救急は、平成17年1月～12月分)

諸支税金

◎基金積立金 2億9,955万円【4,084円】
さまざまな目的のために積み立てている資金(基金)の元金や利子を積み立てました。特に、将来の支出に備え、財政調整基金や職員退職手当基金に元金の積み立てを行いました。
※右の「主な基金残高の推移」グラフも参考にしてください。

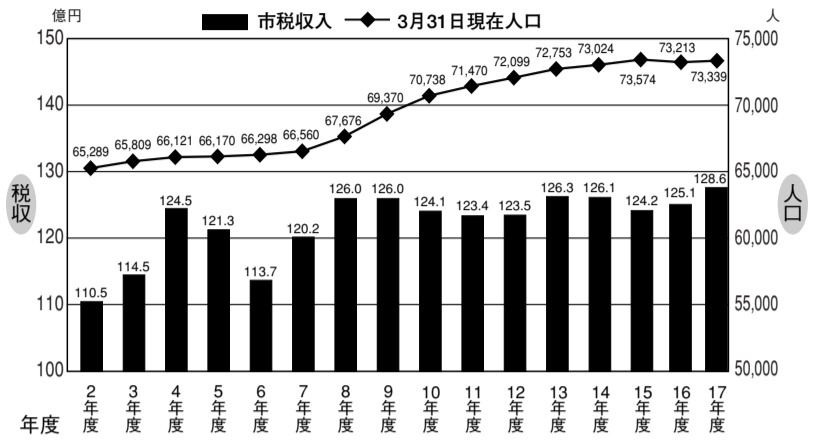
基金(市の貯金)



平成17年度末の市の貯金(基金)は合計約51億1,927万円、市民1人当たりの貯金は約7万円になります。
基金が一番多いのは財政調整基金12億1,173万円、これはいざというときに積み立てた貯金にあたります。

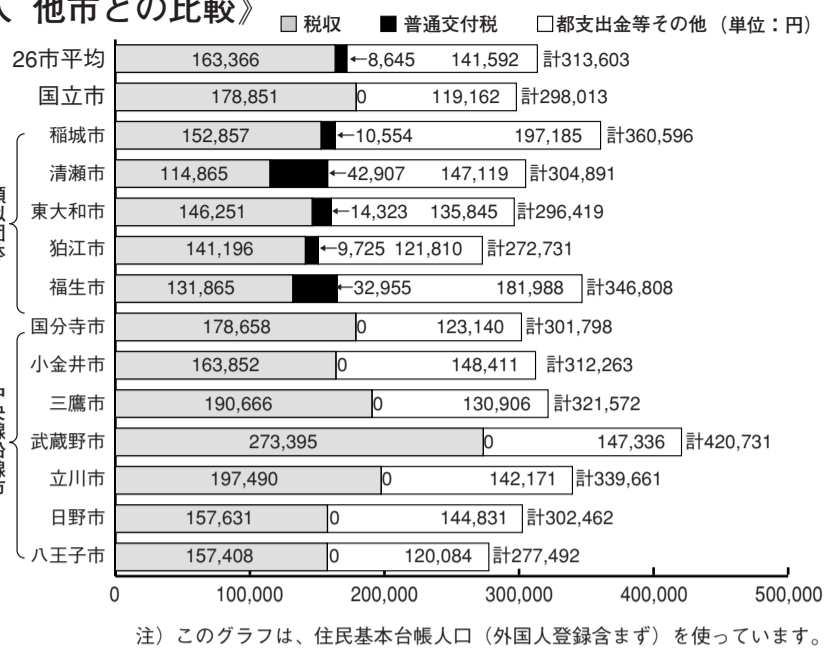
《人口と市税収入の推移》

平成8年度以降、人口が1,000人規模で増加していましたが、ここ数年伸び悩んでいます。市税収入もほぼ横ばい傾向となっています。前年度に対しては、約3億5,000万円増加しました。



《市民1人当たりの歳入 他市との比較》

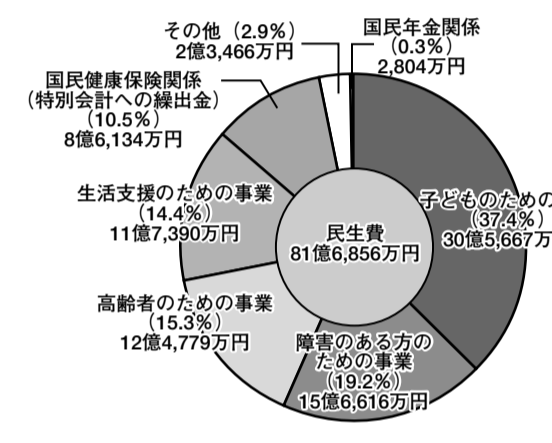
グラフは、中央線沿線市や国立市と人口等の規模の類似している市と比較したものです。市民1人当たりの歳入は、高い市では約42万円、低い市では約27万円とかなりの差があります。



普通交付税とは…地方交付税のうち、災害等特殊事情に対応するために交付する特別交付税を除いた、地方税等の収入の地域間格差を補てんするため、国税の一定割合を財源不足団体に交付するもの。

福祉のまち～安心といきがいのあるまちづくり～

民生費 《民生費の内訳》



◎一人暮らしと在宅高齢者福祉対策事業 1億1,934万円【1,627円】
■利用状況 高齢者食事サービス 4,590万円
対象者 427人 延べ 60,189食
一食当たり 763円

◎高齢者の生きがい事業 2,932万円【400円】
■利用状況 デイホーム事業 1,303万円
登録実人員 79人
実施日数 248日 利用延人員 2,924人

◎在宅介護支援センター事業 3,189万円【435円】
在宅の要介護高齢者等およびその介護者に対し、保健・医療・福祉サービスの相談等の支援をしました。

◎老人医療の経費 3億397万円【4,145円】
老人医療費の公費負担分として、老人保健医療特別会計へ繰り出し(他の会計への支出)をしました。

◎介護保険特別会計繰出金 5億2,120万円【7,107円】
介護給付費として3億7,851万円、事務費として1億4,269万円

を支出しました。(財源：一般財源 5億2,120万円)

Table showing support for disabled persons: 障害者(児)支援費事業 8億5,210万円【11,619円】
Body table with columns for category, number of applicants, and number of decision-makers.

(財源：国・都支出金 5億106万円、一般財源 3億5,104万円)

◎心身障害者(児)福祉手当 2億88万円【2,739円】
■受給者数 1,218人
■受給者1人当たり 約16万円
(財源：都負担金 1億2,810万円、一般財源 7,278万円)

◎国民健康保険特別会計繰出金 8億6,133万円【11,745円】
主に、赤字補てん分として7億4,717万円、人件費および事務費として1億1,416万円を繰り出し(他の会計への支出)しました。

◎保育所での保育 20億2,039万円【27,549円】
0歳児から5歳児までの児童を市内(11園)および市外(31園)の保育所で保育しました。
■平成17年度月平均入所児童数 計 1,111人
0歳児 77人 1歳児 139人 2歳児 208人
3歳児 217人 4歳児 228人 5歳児 242人

◎学童保育所の運営 1億4,595万円【1,990円】
小学校1年生から3年生までの留守家庭の学童を、放課後や休み期間中に学童保育所で預かり、健全育成しました。

◎乳幼児医療費助成 1億1,234万円【1,532円】
乳幼児を養育している方に対し、医療費の一部を助成しました。(財源：都補助金 5,452万円、一般財源 5,782万円)